



2022年
2月14日
聖バレンタインデー

池坊短期大学図書館だより

第6号

クロッカス

花言葉「青春の喜び」



今月は「和と美」の教養を深めてはいかがでしょうか…？
本学が所蔵する「花」や「日本の伝統文化」に関する歴史的書物について松本公一先生にご解説いただきました。

『職人尽歌合』（しょくにんづくしうたあわせ）三冊

本学が所蔵している本は、江戸時代の延享元年（1744）に京都の本屋から出版されたものです。

この本は、正式には『七十一番職人歌合』という本で、室町末期に成立したものです。歌合とは、歌の読み手が左右の二グループに分かれて決められた題の歌を詠み合い、判者という審判が歌の優劣を判定し、勝数の多いグループが勝ちとなる遊びです。この『七十一番職人歌合』は、互いに関係のある職種の仕事の職人が対になって月と恋という題で歌を各一首ずつ詠み、その歌にはそれぞれの職人の仕事に関わる言葉が詠みこまれています。職人だけではなく、商人の絵も描かれており、この本で室町時代の職人や商人の姿を知ることができます。

今回この本の中からとりあげたのは、「一服一銭」（いっぷくいっせん）と「煎物売り」（せんじものうり）です。



「一服一銭」は、東寺や祇園社といった寺社の門前で、茶を点てて販売した商人です。図には風炉と釜、そして天目台に載せた天目茶碗に茶筴で茶を点てる姿が描かれています。これは、客前で茶を点てる、後の茶の湯の要素の一つであるという考えもあります。

対する「煎じ物売り」は、茶や枇杷葉、陳皮（ちんぴ）などの薬草を煎じた飲み物を作る商人で、こちらは荷い棒の前後に水桶や風炉・釜を担いで行商をしていた姿が描かれています。

「一服一銭」の月を題とした歌には、「のむ人」「点（た）つる茶の」という語が詠みこまれ、「煎じ物売り」では、「夜をばいかが、せんじ物」と、詠みこまれています。

全国85紙より新聞記事を切り抜き、分類して収録した雑誌
—月刊「切り抜き速報」—

～図書館からのお知らせ～予告

今月は『食と生活版』と『健康りてらしい』をご紹介します



「食の安全、食品流通や食の歴史・文化、食育、給食など（出版元の紹介文より引用）」に関する新聞の掲載情報の切り抜きが冊子になっている雑誌です。今月号では「健康を支える食」と題して、医院とセットになった飲食店、疾患に応じた献立アプリ、甘くない和菓子、栄養管理の話題の他、コロナ禍で堅調な売り上げを伸ばす、ラーメンや野菜の食品自販機の話など、2021年11月から12月10日までに新聞に掲載された興味深い記事がテーマごとにまとめられています。

「こころとからだの健康情報、医学基礎知識、生活習慣改善、健康教育・保健指導など、セルフケアの実践に向けて（出版元の紹介文より引用）」新聞に掲載された記事を収録しています。今月号は、「コロナ後遺症」「新型コロナのいま」等のテーマ別に、昨年11月6日から12月5日の記事がまとめられています。COVID-19のパンデミックの中では、私たち一人ひとりが正しく情報を得て、自分の心と身体をしっかりと守る意識と行動が求められます。偏らない判断をするためにも、こうした雑誌をぜひご活用ください。



図書館は蔵書点検のため2/5(土)～3/22(火)まで休館です。

次号では、2・3月の新着図書をご紹介します。新年度からは「図書館だより」の新企画として「本」に関する情報を学生の皆さんから募集します。

私の好きな本、お勧め、授業紹介、読後感想など採用させていただいた原稿は「図書館だより」紙面でご紹介します。詳しくは4月号でお知らせします。



本の検索は便利なQRコードまたは下記リンクをご利用ください。

<http://www.lib-eye.net/ikenobo-c/>

図書館・図書館だよりへのご希望やご意見もお寄せください。

